

廃棄物処理をめぐる合意形成に関するフォーラムについて

栃木県環境森林部廃棄物対策課

1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、循環型社会の形成のために必要不可欠ですが、県民の皆さんが目にする機会が少ないこともあり、設置に当たっては地域住民の理解を得にくいという一面があります。

そこで、(公財) 栃木県環境保全公社及び(公社) 栃木県産業廃棄物協会の主催により、廃棄物処理施設に対する県民理解の促進を図るため、産業廃棄物処理業等を対象としたフォーラムが下記のとおり開催されました。

2 開催日

平成 26 年 3 月 6 日 (木曜日)

3 会場

コンセーレ大ホール
(宇都宮市駒生 1-1-6)

4 参加者

90 名 (44 事業所、その他公共団体)



5 内容

(1) 基調講演

(テーマ) 「廃棄物処理施設をめぐる合意形成のあり方～地域住民の理解促進に向けて～」

(講師) 環境ジャーナリスト 服部 美佐子 氏

(2) 事例発表

(テーマ) 「地域から信頼される施設づくり、人づくり」

(発表者) 住友大阪セメント(株)栃木工場 環境課長 星野 春彦 氏

栃木ハイトラスト(株) 代表取締役副社長 辻本 進一 氏

都築鋼産(株) 取締役営業管理部部長 穂積 篤史 氏

6 概要

基調講演では、他県における具体的な施設設置の事例を紹介いただきながら、そこから見えてくる地域住民の理解を得るために事業者求められる姿勢などについてお話いただきました。

事例発表では、各社ごとに、施設設置の際の具体的な取組事例、その後の地域との関わり方、信頼されるための基本的な考え方などについて発表いただきました。

参加者のアンケート結果では、約 9 割の参加者から、基調講演、事例発表ともに「参考になった」又は「ある程度参考になった」との回答をいただきました。

廃棄物処理をめぐる合意形成に関するフォーラムアンケート結果

○有効アンケート回答数：64件

Q.1 あなたの会社・事業所はどれに該当しますか？

①産廃収集運搬業者	②産廃処分業者	③排出事業者	④その他
15	30	3	16

Q.2 フォーラムの時間についてどう思いますか？

①ちょうどよい	②長すぎる	③短すぎる	④どちらでもない	無回答
48	4	2	6	4

Q.3 基調講演についてどう感じましたか？

①参考になった	②ある程度参考になった	③あまり参考に ならなかった	④全く参考に ならなかった	⑤どちらでも ない	無回答
22	36	5	0	1	0

Q.4 事例発表についてどう感じましたか？

①参考になった	②ある程度参考になった	③あまり参考に ならなかった	④全く参考に ならなかった	⑤どちらでも ない	無回答
30	28	2	0	2	2